

Chocolat 通信

2013年 2月号

みつえ

見つけたり
夕日の先に
落のとう

K'mio talks

「ショコラ通信」のこと

ショコラ通信を担当されていた小久保さんと、佐々木さんが退任される、という事を聞いて衝撃を受けました。この通信は本当に良くできていて、毎回工夫がありますし、私は別の団でもコラムは書いていましたが、いろいろ理由を付けて断り続け、今ではショコラだけになっています。コラムの原稿締切日の前日に佐々木さんから「明日は締め切り日です」とメールが来るのですが、そうすると、一端の作家になった気分、何となく嬉しい気持ちにもさせられました(笑) 合唱団の活動、というものはもちろん合唱を歌いにくる、それをうまくいけば人に聞かせる、というのが基本的な活動ですが、やはり素人として集まって来た以上、いえ、プロとして集まってもそうだと思いますが、音楽以外の活動を通してお互いに理解を深めたり、親睦を深める、のだと思います。そのためにこの通信はとても大事なものだ、と私は思います。次に担当される方は、別に報酬が出るわけでもないし大変ですが、是非とも他では絶対に見られないような「ショコラ通信」を作っていってほしい、と思います。

小久保さん、佐々木さん、ご苦労様でした！ (Noboru Kamio)

佐々木 団長の 断腸の思い

「音楽とはなにか」part2

12月号で音楽と感情表現の関係についての知識を紹介しました。この問題を深めるには「音楽はどのように始まったか」を考えることは避けて通れません。学者たちが考えた音楽の始まりに関する説は「自然模倣説」「言語起源説」「性衝動説」「リズム起源説」等があります。考古学的にはドイツにて3万7千年前、鳥の骨で造られた三つの指穴のあるかなり精巧な笛が見つかっています。同年代のフランス南西部のレ・トロワ＝フレール洞窟には楽弓のようなものが描かれています。神話や古文獻では音楽は「歌と踊り」が一体化した神的なものとして現れてきます。考古学から浮かび上がる音楽は娯楽としてではなく「魔力」のようなものであったようです。「音楽は魔法」だったので。

(佐々木 晋)



わたしの先生

人生の先生は〈母〉

私が覚えている唯一の父の言葉は肺結核の病床で他界寸前に叫んだ「バカヤロー」です。それから延々と母は生後3ヶ月の妹と姉3人を1人で育てあげ76歳で逝ってしまいました。

母は「上を観るより下を観なさい」と言って社会の矛盾や優しさを教えてくれ、小学校の担任教師が私を養女に望んだ時も貧しくても自分で育てたいと言い、手放しませんでした。後年、私が子育てと仕事の狭間の夢の中で「助けて〜!!」と呼ぶと真白なエプロンにホーキとバケツを手に現れてくれました。

牡丹で有名な下落合薬王院へ彼岸の夕方一人で墓参した時、誰もいないのでせつせと草むしりをしてふっと顔を上げると前方に布袋を持った中年女性が「どちらから来たのですか?」。「幡ヶ谷からです。」と答え、「あなたは?」と問い返すと「すぐ近くからです」と言いました。しばらくして気付くと横4~5m先で彼女はじっと私を見つめていました。冷気ではっと気付いた時は姿を見失ってしまいました。瞬間母に会えたと思ひ嬉しさがこみ上げてきました。やはり“足”はなかったと思います。人生の先生は“美丈夫”でした。



近藤 壽美江 (ソプラノ)



SOPRANO 阿部 紀世

《ボイトレの成果を》

前回、四ッ谷の施設での演奏は大成功でした。聞いて下さった皆様の反応がとても良く、又ホールでの響きも良く気持ちよく歌えました。ひばりの歌など皆さん手振り身振りで昔を懐かしんで一緒に歌って下さいました。それぞれのひとの人生の断片を見、また力を貰った気がしました。

先日、田辺先生のボイトレを受けました。姿勢・口のあけかたなど勉強しました。正しい発声が少しずつ身につき自信が持てれば他のパートの声も聞こえるようになり指揮をみる余裕がでできます。これからはぜひ家で音とりをし、わからない箇所を見つけ練習日に皆で合わせるようにしたいと思います。来年の本番に向けて、よしゅう・ふくしゅうに時間をかけましょう。



TENOR 佐々木 晋

《施設訪問コンサート》

テノールの参加者は4名、「美空ひばり」はテノール全員がこの前の本番で経験した曲、「いつの日か」は3名が以前に歌った曲であり全て馴染みのある曲でしたので、歌詞と音がちゃんと頭に入っていたかは別にして表現は思いつきでできたのではないかと思います。お客様の反応が大変良かったことは幸運であり、歌う事の意味を再確認できました。もっと上手くなって、また施設の皆様に聞いて頂きたいと思いました。ショコラならではのものを確立し、多くの人と歌を分かち合っていけたら幸せです。

編集後記 2013. 2. 21

♪以前、日本の合唱曲のCDを聴いて綺麗なハーモニーだったのだが、歌詞が聞きとれない曲があり残念に思った。私の耳のせい、それとも曲が難しいせい、そのどちらともあるだろうが、歌詞の内容が伝わらなければつまらない。私がショコラに入団当初、神尾先生が「て・に・を・は」=助詞を発する時は気を使ってとおっしゃったことになるほど!と納得したものだが、今だに言われ続けている。大人の合唱としてはやはり日本語を美しく歌いたい。それにはまず歌詞を音読するのがよいと思うこの頃だ。(三葉)

♪世界遺産の高野山、高輪にあるその別院で「阿字観」体験をした。説明によると〈「阿字観」は真言宗に伝わる瞑想法で真言禪とも呼ばれ、心を落ち着かせ、深い内観をとおして自身に内在する仏性(ぶっしょう)とコンタクトを行う〉のだそう。50名ほどの参加者を前に講師の川上師は先ず冒頭「瞑想なんて出来る人はそんなにいません」と。立ち居を数回いい心拍数が少し上がったところで、各自出来るやり方で足を組む。呼吸法は文字通り“吐く”から始まり“吸う”のは後。吐く息に声を乗せることもした。ボイトレではないのでいい声を出そうとか思わなくてよいとおっしゃる師の声は静かに響いて美しい。声を出すってこういうことかと今更ながら感じた一瞬。(kobo)



ALTO 金成 素子

《ハーモニーの要として》

マイ・ウエイでの演奏会、お疲れさまでした。アルトは残念ながら三葉さんが参加できませんでしたが、新しい仲間2人と共に演奏会に臨むことができました。しばらく人が増えなかったアルトとしてはうれしい限りです。アルトパートは声を出しやすい音域ですが、音を取るのには難しいです。それも、他のパートと響き合う音色で正しい音を取るのには結構大変です。自分で正しいと思っていても、他のパートと合わせたときに響かないと、やはり音の取り方が甘かったと思うことがよくあります。声の出し方によって音程も微妙に変わります。合唱を始めたばかりの人もベテランといわれる人も、神尾先生と田辺先生のもと、声に磨きをかけていきましょう!そして、アルトの音色を合わせ、他のパートもよく聴き、ハーモニーの要としてがんばりましょうね!



BASS 古川 智久

《ベース 募集!》

今回の「マイウェイ」での演奏は、初めての場所だったにもかかわらず、施設の方が暖かく迎えて下さったことで、とても歌いやすい雰囲気の中で楽しい時間を過ごせました。また、観客席も近かったので、反応をダイレクトに感じられました。

これからもこのようなコンサートの機会を通じて、合唱の素晴らしさを観客の皆さんと分かち合っていきたいです。それと同時に、10周年コンサートに向けては、新たに挑戦する宗教曲のように、普段観客の皆さんが馴染みのない曲でも、美しいと感じてもらえるような演奏ができるようにしていければと思います。ベースは現在人数が少ないので一人一人の実力が大きく影響するため、先生方のご指導のものにできるよう頑張っていきます。が、いかにせん人数不足は否めないなので、みなさんのお知り合いにいいベースがいりましたらぜひ勧誘お願いします…